

系統的な学習規律  
の充実について  
コミュニケーションの  
力をつける場の設定  
心用リビハロ  
(実体験をどう仕組  
むか)

完全複式における予定  
間接授業での課題  
の内容や出し方  
間接授業の工夫  
子どもの視点に立  
た教材研究

西部 ( / ) G  
学級の仲間と共に  
学ぶ工夫 (複式)

自主学習の質  
量の向上

授業公開の回数  
と時期の適正化

テーマ

# 少教校での授業改善

校内研の充実  
共通理解

教職間の  
和

授業の組み立て

研究授業の  
視点の設定

板書の工夫

直接指導

意欲・関心  
集中力

間接指導

コミュニケーション  
(言語活動)

子ども同士の意見の  
やり取り

ひとり学びの  
手立て (担任  
作)

ノート指導

教材研究

ねらいを明確に  
する

課題  
ペア対話  
教え合い・リーダー  
視写・ガイド学習

校内研  
ノート指導の交流

仲間づくり

学級づくり

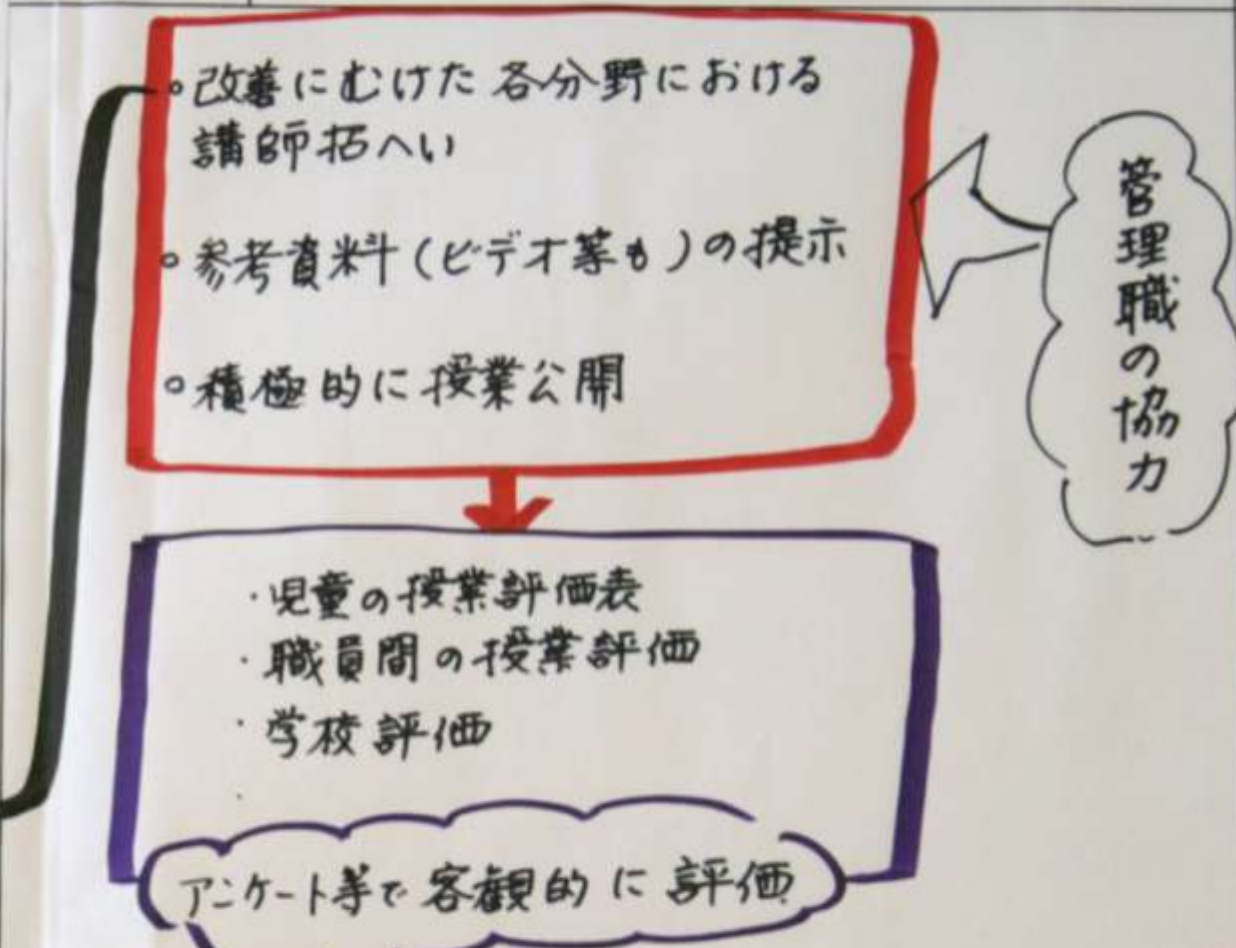
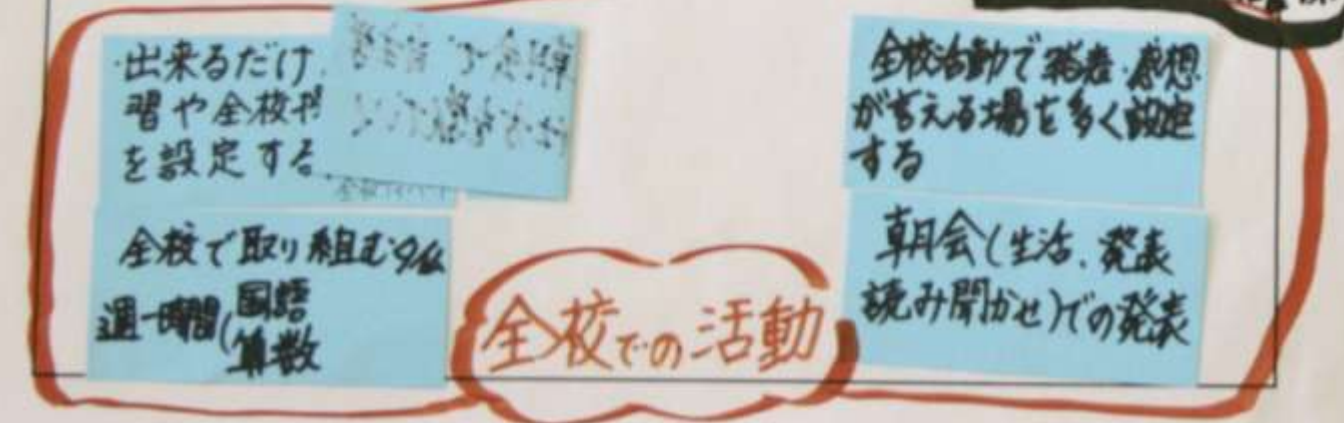
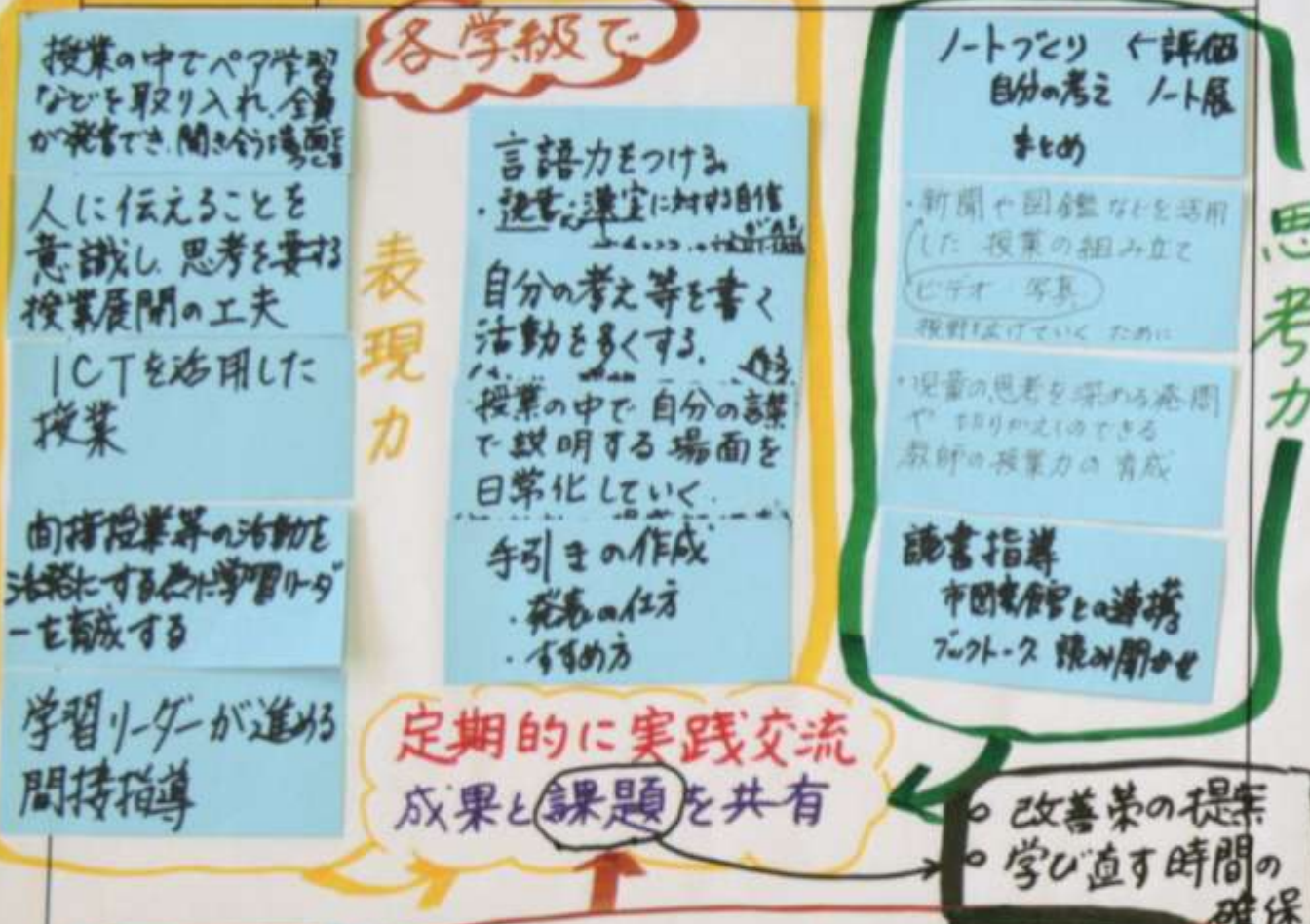
台

家庭学習  
(自主)の充実

児童一人ひとりの  
実態把握

連携  
(コミュニケーション信頼関係)

各校の課題	複式授業の指導法の共有 学習リーダーを育てる 日々の授業改善につながる研究の方法	表現力を高める 手立て 極小規模校での伝え合う力の育成 (場の設定や手立ての工夫) 1人学級での授業展開の工夫を探る (思考力・発表力育成のため)	ICT活用の研修が不十分 授業評価表の活用	各校の課題
テーマ	思考力・表現力を育てる校内研究の在り方			テーマ



各校の課題

研究封鎖  
ワークショップ  
全校研・TOY研以外  
日常に見せよう授業指導研  
研究テーマをより着目した  
指導案の書き方  
授業研究

CT機器の効果的  
活用に関する研修

組織力を高めるために  
(プランも全員で推進  
するために)

検証のし方を  
考えていくか  
検証を100%の  
次の課題へと取り  
組んでいく(実践)

テーマ

同じ目標に向かって取り組む研究組織のつくり方

### 児童の実態把握がテーマ

1日校内研で昨年の実践  
を研究している。  
それと新たなメンバーから意見  
を出し、新テーマ、内容を決定。

研究テーマの共通理解  
・研究の柱

リーダーシップをとるための  
指導力、授業力の向上

職員研修  
(外部講師、研究会)

授業研、実証報告等  
議題と主題(目標)の関連  
を明らかにする。

レジュメに研究内容(目標)  
をまとめる。

## 実践

改善プランの中間  
検証  
(取り組み、成果と課題、改善)

取り組みに対する  
チェックシート (教師)

授業評価表 (児童)

研究テーマから外れない  
検証

テーマ  
に合った  
力

次年度課題

主体的に研究に関わる意識を高める

次につなげる研究協議の工夫

授業力を向上するための工夫

「付けたい力」を明確にした授業作りのための授業研究

各校の課題  
複式授業における効果的なICTの活用法

授業研をより活性化する工夫

研究授業で質を高める取り組み

# 4G

## テーマ 授業力向上のための授業研の事前事後の取り組み

統括・検証を文書で・全員で

「付けたい力」に対しての課題のみ、主任がまとめて提示。次回  
「付けたい力」を全員が明確に意識して授業研に臨む  
「付けたい力」をイメージして指導案形式(研究9.2に沿って)を工夫して行く  
授業評価表の活用  
(研究9.2に沿って)観点(統括・比較)

司会・記録をみんなで

授業をみる視点、観点別点数化  
→意見が出た工夫を

ワークショップの実施

講師招聘による協議の活性化

次回  
次年度へ

授業研の事前協議の時間を確保して、教材研を深め  
実態域以外の授業の研+スタート

係担当の先生への事前のお願い

優先順位を付ける

来週のレジメの提示(主任)時間を有効に

「付けたい力」に向けた全校の取り組みの発表・作文

議題の整理・精選

主体的な校内研  
全体の意欲向上  
研究授業後の  
日常化につなげる

研究主題に沿った  
協議で課題把握が明確化！  
研究授業の  
改善について

反省を出  
たことを次  
の研究授業  
でどう活か  
すか。

研究テーマ  
の成果につき  
かえる実践とは  
この

各校の課題

テーマ 研究主任として  
研究授業を日々の実践にどうつなげていくか

外部の風

先進校の視察  
子どもの実態に  
即した授業改善

研究主任  
(リーダーシップ)  
人材育成

リーダーシップ

日々の授業で  
大切にしたいこと

点検・検証

発言形式  
児童同士がかわりに  
つなげる

研究主題に沿  
て研究協議。  
全体で共通理解

授業後の  
1ト点検

日々の授業の  
5つのポイント  
を兼ねて日常化

研究  
授業

授業後の反省や  
課題をまとめて  
人全体のものにす  
校内研のしかり  
の作製

共通認識

5つのポイントから  
更に比べて今年  
年で取り組む  
事前事後研  
を行い課題を  
明確化する。  
校内研のテーマに  
つなげる視点の  
ポイント  
を引用

教材研

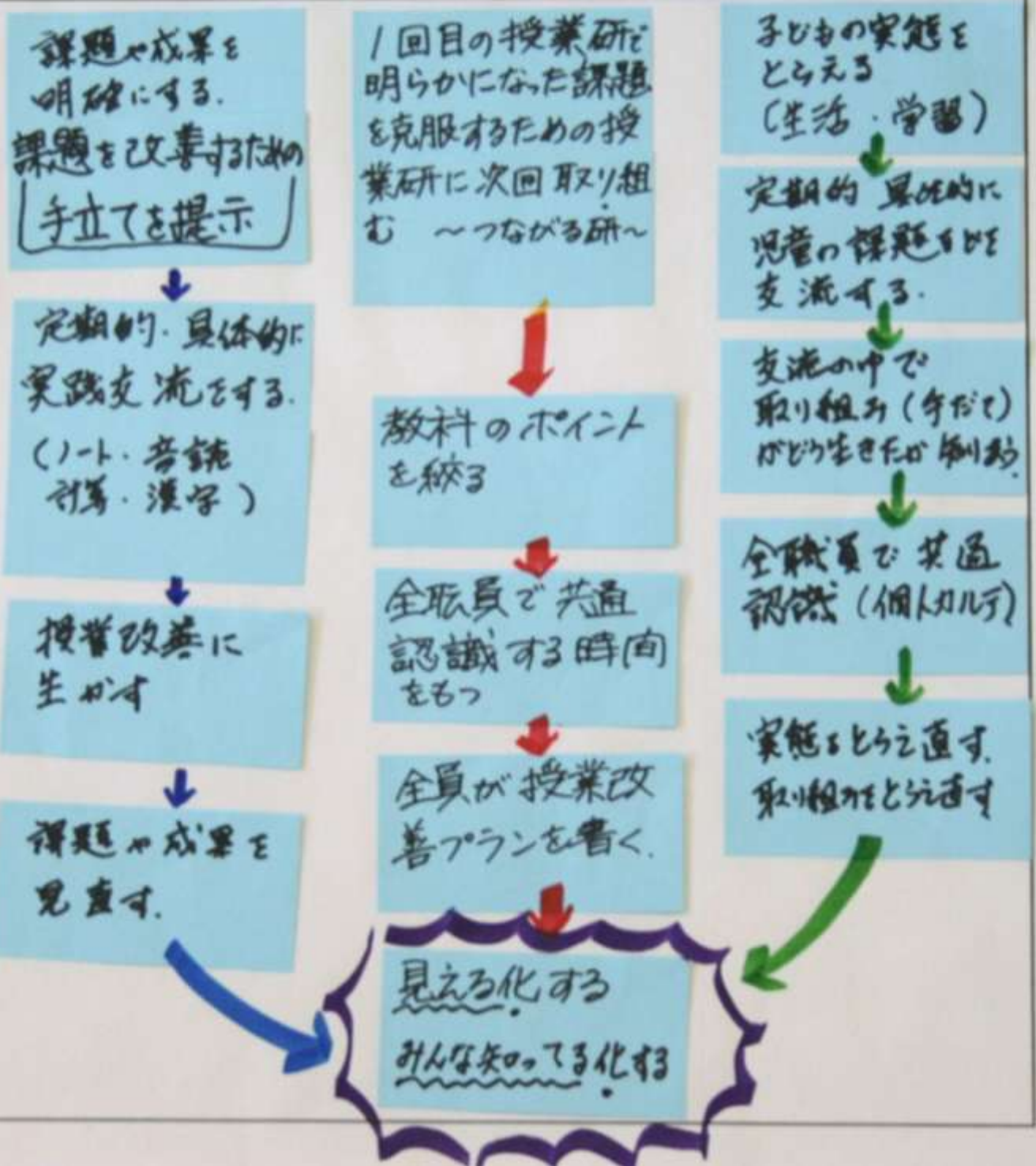
教材研究・教材準備  
の時間確保  
教材研を  
しつかりする

重おた取り組みが  
個々の子どもを  
どう慮よびとるか  
丁表をこえて  
研究協議したことで  
日々の授業  
改善にどうつ  
なげていくか  
研究意欲の向上  
各自が主体的に  
取り組みむためには

各校の課題

テーマ

意欲的な取り組みを日常化するためには



「授業スタンダード」  
づくり

授業研究

授業研究: 学校独自の  
授業スタンダード  
の作成

700

日々のチェック  
数値化  
協議で見直した点  
等と次回の校内研  
どう生かすか

校内研  
研究授業についての

上記のやりかたにより  
より有意義的な授業

授業の方法  
統一化

全校統一の  
学習形態  
(ノートのリサイズなど)

授業研究協議  
の方法と次へのつなげ

協議での反省点や  
課題と次はどうつなげ  
ていくか

テーマ 授業研究協議の方法と次へのつなげ方

協議の方法  
の工夫

7-7シヨップ型

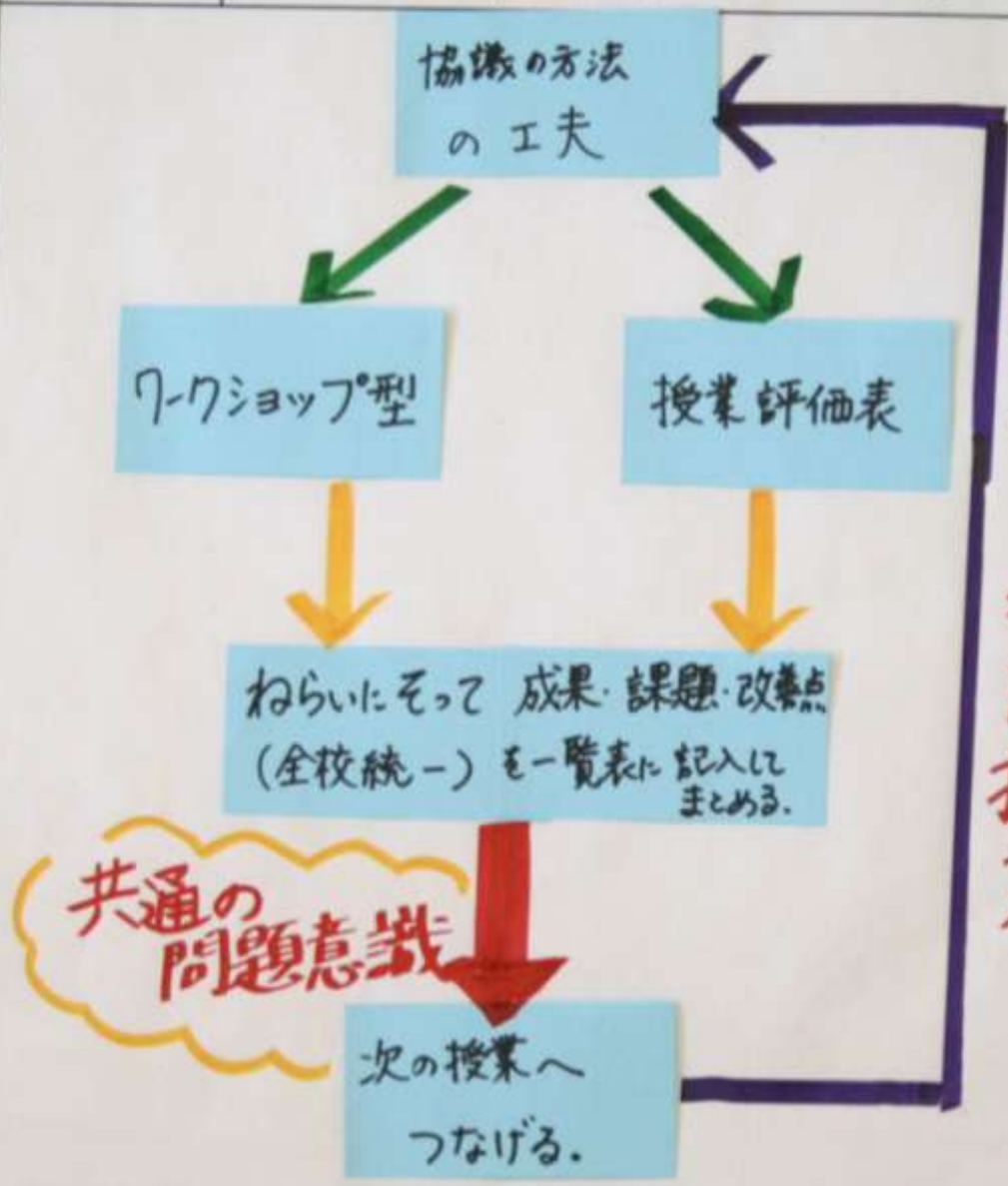
授業評価表

ねらいにそって 成果・課題・改善点  
(全校統一) モー一覧表に記入し  
まとめる。

◎改善された授業

共通の  
問題意識

次の授業へ  
つなげる。



時間をどう生み出すか。

取り組んでいることが、各学組で活かしているか、ちんとしてきたか

定につなげる授業研

各校の課題

模擬授業を取り入れた事前研究

研究授業で検討したことを日常化し、前年より進捗がどうかを調べる。

研究通信・交流により組織の活性化

テーマ 研究主任として授業研をどう日常に活かすか。

学校のスタイルを

学校のスタイルを(研究)と確立する

「研究の手引き」研究推進を図式化したものを作成し、いつでもつくばるに提示。  
・実施方法  
・視点・PDA資料

事後事後研修

事後研の持ち方はポイントをしぼった(ワークショップ形式で)話し合い、おため(朝)

話し合い(匿名)で具体的な方法を出す。

教科領域を越えた授業研

事後研の工夫

事前研工夫

各部、ブロック研修の時間確保。

・反復で出たポイント(課題)の視覚化

共通理解を図り、取り組みやすいことから始める。

模擬授業 事前研で板書計画  
教材研究をしかり(1人→2人→3人)

週1回の報告会の設定

事後研後に通信に課題、成果をまとめた職業に配布する。

具体的取組み

管理職と上につなげていく。

年間を通した

PDCAサイクルを

RVもね



各校の課題

共通認識が不十分  
→ 話し合えても理解が  
授業研究で課題を  
深掘りするための  
身立て。  
全校教員の  
共通理解を図る。

年間を通じた  
検討計画の立て方  
授業研究の  
授業研究を増やすことで  
時間の確保がなければ  
ならない。(可能性の調査)

研究任侠も意識は  
必要  
授業づくり

# 主体的に研究に取り組めるよう、共通理解 を図るための方策

## 引き

「校内研究の手引き」を  
作成し、常に目に見え  
おにしておく。  
目に見える形で  
文書化する  
(「校内研究の手引き」等)

具体的な提案を  
共通に理解するための  
「校内研究の手引き」を作成  
授業スタイルや指導形式、  
学習規律や学び方を取り組  
んでいくのを期に、これら  
で使えるようにする。

校内研究の手引き  
を作成する。

## 検証 改善

短いスパンで  
繰り返し振り返る

前の授業研究の課題  
を明確 → 次のどう  
生かすかの検証

具体的な案で  
検証  
(子どもも共有)

既の取組をふり返す  
ように、何回か自己評価計  
を採り意識していく。

児童の姿容のわかる  
具体的なための検証。  
(1. 数値化。)

## 実践

他の先生が授業づくりの  
予め場を設定する  
・事前研、授業発表、etc

計画的な提案(速く)  
-日時、内容、(目的)  
-生徒の活用(一覽表)

理論だけでなく実践  
・自主研の活用

校研の具体的な内容を  
事前に知らせておき、主体  
的に取り組んでもらう。

## 計画

見通しをもった研究に取り組  
めよう。年間の計画を立て  
て周知する。

研究主任やベテランの教員  
が早い時期に公開授業を  
行い、授業スタイルについて周知を  
図る。

研究主任が、1年間を区切り  
計画をきちんと立てておくこと  
が重要。

前年度の反省の上にした  
年間計画

計画のビジョアリ化  
年間一学期  
掲示して確認

小中連携の  
不十分さ

理解の深さを高めるための  
研修の時間不足

教員の授業改善への  
温度差

授業と実務研修の  
関係性  
授業アンケート  
授業アンケート  
(授業アンケート)

同僚 (Day Day) の  
研修の活用  
実践 課題 授業

理解を  
するための

またあ (振り返り)  
確認に要す  
研究の視点に基づき  
研究協議

実践研修 (アンケート)  
実践研修 (アンケート)

課題

テーマ

小中連携  
(授業交流)

全教員の授業改善への意識  
をどう高めていくか?

日々の授業の  
公開

授業研の視点の  
変更 (生徒の活動  
に目を向ける)

わかれと振り返り  
を特効 (共通)  
仁徳

研修相察を  
計画する

指導案検討  
(少人数でも)

生徒の理解度  
チェック

教員の他校  
研修

研究授業

生徒に毎時間反省  
を書かせる。

講演を聴く

管理職との連携  
研修部会の  
編成

実態把握 意識  
授業アンケート・授業観察

自己研修

全体会での  
ポイントを絞る (焦点化)

生徒からの刺激

校内研修のハンド  
ブックを活用する。

校内研修組織

実践

教員の意識・行動 (共有化) (統一)

① 研究部会等 体制作り

授業のスタンダード (学級全体の統一)

授業研の視点の明確化

授業研の活性化 (事前・協議・事後)

授業分析の形式化 (共通化)

個に焦点を当て

1. 分析・支援 低学力の生徒への支援

C&Bへ

管理職との連携

テーマ

研究主題にせまるための 意識の共有化と実践

課題

課題把握

生徒に対する 認識の違...の克服

よりよい 研修システムの確立 (明確な数値目標)

授業分析シート 個人分析シート

実践例 三山崎中のシート例

ある程度の 形式化

但し 簡略化 (つづもの)

具体性 (やりがい)

ホリダーの育成

各研究部会のリーダーを企画委員会に合流させる ※主体的に動くため

仲間とふやす!

研 ↓ 11考

定期的な検証と 校内研(全体)確認

時間の設定 確保

PDCA サイクル

数値・具体的に 変化で評価

改善された事例 (しんせいプロジェクト) 生徒に仲ある: 加藤

普段の コミュニケーション

そうするこ とで...

リーダー研修等に 個人提案等 組織に

講師を招いて 研修をすませ 教-子ども-家庭

スキルアップ 研修 研修 研修

※ コーディネートの 向上

境づくり) の研修

教員の資質の向上 (研修・校内で)

財産を次に生かす (残す)

教職員の異業に 関係な取り組

〇〇中学校としての 実践が積み重ねてい 工夫 (記録・シート)

19Yコンに データを 残す。

情報の共有



校內研の効率化  
組織として機能  
させ。

改善プランの  
共有化  
チェックテスト→目的  
80%  
→定数学期 提示

課題を具体的に、

実践していく。  
生徒の学びの  
実践

家庭学習の  
様子を知るに  
授業に参加し  
い生徒への支援  
体制

事前検討会の  
時間、方法、内容

班学習の活動が  
主題にせよるもの  
を...

研究授業後の  
今後は...

言語活動を  
意識する。

専門教科の指導と  
他の教科との...

7-7シヨップ型  
研究協議

### 効果的かつ研究授業のあり方

授業日までのタイム  
スケジュールを立て  
指導案作成、事前  
検討会をもつために  
(確かな計画)

全員参加型の  
授業研究  
やっぱりかたど  
思う内容にする  
のにする。

言語活動などを  
どのように行っていくか  
をPDCAで

次の研究授業者の  
申しあげりとする  
授業者が改善策を  
明らかにするとともに  
参観者も、その改善  
策を認識して、後  
業が...

(次につながらる事後研)

観点にもた  
研究協議

指導主題の  
有効活用

全員参加でがけ  
れば、特に、  
研究会の内容を全員に  
教科特性の  
から各教科共通  
のものにし、日常化  
課題と全職員  
で共有する

授業で見た課題を  
全体に周知、各自は  
次に改善する。

次につながらる  
内容

ポイントをしぼった事前検討会

共通の取組事項が  
指導案に反映されて  
いるかを検討。

事前検討会

授業者、研究主任

管理職で事前検討会

事前検討会はある  
時間を利用する。

事前検討会  
は授業者、研究  
主任、管理職で

模擬授業

模擬授業

やっぱりいい。

(明確な視点)

研究授業の  
共通の視点。

授業の視点を  
明確にする

生徒の実態と明らか  
にすること。参観の  
点々をみ出し、それ  
を明確に

観の視点を明  
し、それによって  
共有化しておく

教員の意識を  
向上させる手立  
とは? (主体的に)

到達目標の  
数値化

生徒の仲間づくり  
の進め方

教材部会の  
質の向上と活性化

各校の課題

検証の仕方  
指標の提示

授業研の進め方

テーマ

学力向上改善プランを生徒のためのものにする

# 授業改善

## 生き生きと 学ぶ姿の 見られる学校

5つの視点が  
授業中にある  Yes

事後協議の視  
点の本化  No

確認テストの標準化  Yes  No

家庭学習時間の実際  
把握と改善(管理)  
・1日1時間以上実施80%以上  
【できていない】 【できていない】

授業規律  Yes  
小中の連携  No

学び合いの  Yes  
時間確保  No

学習意欲の向上  
～家庭学習の充実～

Q-Uの要支援群  
が減っている  Yes  No  
月3日の  
欠席をさせない  Yes  No  
【できていない】

仲間づくり

教職員の協働意識とベリトル合わせ